

中学校第2学年 道徳学習指導案

1 主題名 夢の実現を目指して 【内容項目A-(4)希望と勇気, 克己と強い意志】

2 教材名 「静寂のマウンド」(出典『NHK ティーチャーズ・ライブラリー』NHK アーカイブス)

3 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

人間としてよりよく生きるには、目標や希望をもつことが大切である。しかし、急速に変化する現代社会の中で、将来を見通すことが難しく、夢や目標をもちにくくなっていると考えられる。また、夢や目標をもっていても、思いどおりにいかない現実に悩み苦しむことも少なくない。

人間は、つい楽な方に流されてしまったり、挫折感を感じ、途中で投げ出してしまったりする弱さをもっている。しかし、それらを乗り越えて前に進む強さをもっている。夢や目標をもつことは、自分自身の生きがいややりがいを感じ、前向きに生きようとしたり、より高い目標を目指して勇気を奮い立たせたりすることにつながり、自分を強くたくましくするものである。よって、夢や目標を達成するために、強い意志や忍耐によって困難を乗り越えようとすることの素晴らしさについて考えさせることは意義あることだと考える。

○生徒の実態について

中学生の時期は、人間の生き方への関心が大きくなり、自分の人生をよりよく生きたいという内からの願いが強くなってくる。しかし、よりよく生きたいという願いをもちつつも、困難に直面したり、失敗を経験したりすると簡単に挫折し、夢や目標を見失ってしまうことが少なくない。

4月に実施した佐賀県小・中学校学習状況調査の意識調査によると、本学級における、将来の夢や目標をもっている生徒の割合は75%で、県の平均を少し上回った。本学級の生徒は9月に職場体験学習を行い、事前学習等を含め、将来の夢や働くことについて考える機会をもった。自分の進路を意識する生徒も多く見られるが、今現在の努力や生活が夢の実現につながることを意識するまでには至っていない。今抱いている夢や目標をもち続けることの素晴らしさと、その達成のために、強い意志で、最後までやり抜くことの大切さに気付かせたい。

○教材について

本資料は、「道徳ドキュメント 人生はチャレンジだ」というNHKの番組で、2006年に放送された、15分番組である。石井裕也選手は、先天性の難聴で、右耳しかわずかに聞こえない、という障害をもちながらも、小さいときから大好きな野球に打ち込み、「プロ野球選手になりたい」という夢を叶える。プロ野球選手になった後も順風満帆とはいかず、挫折を経験する中で悔しい思いを味わう。しかし石井選手は、逆境にあっても諦めずに努力を続け、一軍復帰を果たす。このような石井選手の生きざまを感じとらせることにより、夢をもち、努力することの大切さを意識させたい。

小さいころから夢をもち続けている石井選手の思いや、障害をもちながらも挑戦し続ける姿から、夢や目標に向かって努力していくことの大切さを考えさせることができる資料であると考えられる。

○指導について

本時の導入では、将来の夢をもっているか、また、そのために努力を続けているかどうか尋ね、自分自身を見つめさせたい。佐賀県小・中学校学習状況調査の意識調査を紹介したり、職場体験学習の写真を提示しながら振り返らせたりすることで、自分の将来について想像し、夢をもつことに対する意識付けをしたい。

展開では、資料を通して、石井選手の生き方で見習いたいと思う部分を考え、班で意見交流をさせる。耳がほとんど聞こえないという障害を逆に生かした部分にも目を向けさせ、多面的・多角的に考えさせたい。

終末では、職場体験学習の生徒の感想の中から、将来に向けての夢や目標について書いているものを紹介し、自分なりに価値を発展させていくことへの思いや実践意欲を高めることを目指したい。

4 ねらい

石井選手の姿に、自分の経験や思いを重ねて考えることを通して、困難や失敗にくじけずに努力して、これからの自分の進路に向かおうとする意欲をもたせる。

5 展開

	学習活動	主な発問(○)と予想される反応(●)	指導上の留意点 <small>期待される生徒の姿(教師の願い)</small>
導 入	1 自分の夢について考える。	○将来の夢はありますか。また、そのために努力していることはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> 意識調査の結果を紹介しながら、全体で共有する。 職場体験学習の写真を掲示して、活動を振り返らせながら、将来の夢や目標について考えさせる。
	めあて：プロ野球で活躍する石井選手の生き方を知り、考えよう		
展 開	2 耳が聞こえないことについて考える。	○耳が聞こえないと困ることや大変なことはどんなことだと思いますか。 ●車や自転車の音が聞こえない。 ●周りの言っていることが分からない。 ●チームの人たちの指示が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> 想起しやすいように、事例や状況の補足をする。 資料を視聴する前に、概要について説明をし、発問をする。 2006年に放送された番組であることを伝え、現在、石井選手は違う球団に所属していることを伝える。
	3 資料を視聴し、考える。 ●付箋に自分の考えを書く。 【書く活動①】	○石井選手の生き方で、見習いたいと思う部分は、どんなことですか。 ●努力したところ。 ●目標のために、一生懸命頑張っているところ。 ●あきらめない気持ち。 ●挫折や苦しい経験を、努力して乗り越えているところ。 ●子供のころからの夢をもち続けて実現させたところ。	
終 末	●班で考えを交流させ、用紙にまとめる。 【話し合い】	○班でまとめましょう。それぞれ、付箋に書いた考えを発表し、似ている考えがわかるように、ホワイトボードにまとめましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 耳が聞こえないという障害を、どのようにカバーしていたかを考えさせて、プロ野球選手として野球を続けることの偉大さを感じ取らせる。 「努力した」という意見に対して、なぜ、努力をしたのかと問い掛け、「夢をもつこと」につなげさせる。 この後の班活動につなげるために、付箋に記入させる。 各自が付箋に書いた考えを、分類化しながらホワイトボードにまとめ、黒板に掲示させる。
	4 自分の夢や目標に向かって、これからどんな努力をしていきたいか考える。 【書く活動②】	○授業を終えて、感想や思いを書きましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 周りの人たちとの意見交流によって、様々な側面から見た多様な考えをもっている。 それらの中で、自分も同じように努力していることがあるかどうか振り返ることで、自己肯定感をもたせながら、自己の生き方を考えさせる。 2006年以降の石井選手の活躍を紹介する。 職場体験学習の感想の中から、将来に向けての夢や目標について書いている生徒の感想を紹介する。